

救急医学科に搬送歴のある患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療後の診療情報等を使って行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とした生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、研究機関の長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》 院外心停止症例の生存転帰に関する疫学研究

《研究機関名・研究責任者》 関西医科大学附属病院 救急医学科・准教授 梶野 健太郎

《研究の目的》 当院に救急搬送された院外心停止に関する情報を収集し、院外心停止例に関わる患者背景、救急隊活動内容・時間、当院到着後の治療内容、生存転帰などを多面的に分析し、救命率の向上、救急システムの改善に寄与する因子を検討することを目的とする。

《研究期間》 承認日から2027年3月末日

《研究の方法》

●対象となる患者さん

2017年4月1日から2027年3月末日の間に当院に心停止状態で救急搬送された方

●研究に用いる情報の種類

臨床所見（患者性別、患者年齢、普段の生活状態、心肺停止目撃状況、目撃者と心停止患者の関係、心肺停止場所、心停止時の状況、口頭指導、居合わせた人による心肺蘇生種別、市民による除細動、時間経過（覚知時刻、出場時刻、現場到着時刻、患者接触時刻、隊員による心肺蘇生開始時刻、初回除細動実施時刻）、救急隊到着時の医師による2次救命処置、初期心電図波形、除細動、二次救命処置、治療内容）血液所見（PaCO<sub>2</sub>、PaO<sub>2</sub>等の動脈血液ガス分析データ、赤血球、白血球等の末血検査データ、AST、ALT等の生化学検査データ、フィブリノゲン、FDP等の凝固止血検査データ等、X線検査、CT検査、MRI検査、冠動脈造影検査等、使用薬剤、治療反応性・予後

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での診療情報等の取扱い》

お預かりした診療情報等は、患者さんの氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さんの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

\*上記の研究に利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

研究責任者 関西医科大学附属病院 救急医学科・准教授 梶野 健太郎  
〒573-1191 大阪府枚方市新町2-3-1  
電話：072-804-0101（代表）（PHS：56435）